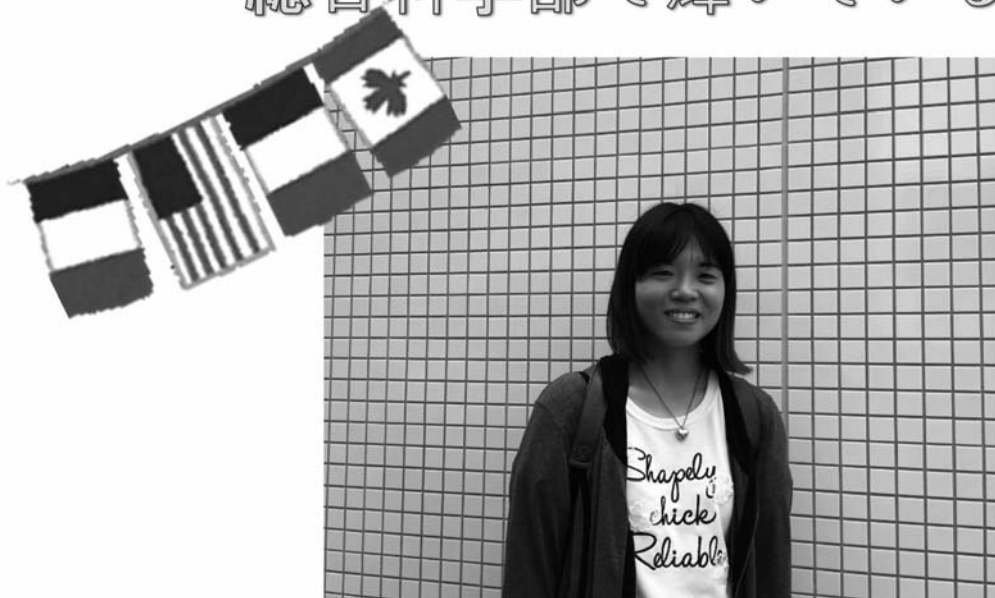


総合科学部で輝いている人



橋本 佳奈さん

(人間探究領域)

Q 所属されている領域を教えてください。

人間探究領域の英語コミュニケーションを専攻しています。主に英語の勉強をしていて、今だったら英語の構造の話とか普通に英語の授業があつたりしています。メンバーもあまり変わらず、いつも同じようなメンバーで受けています。

———いつごろその領域に進むことを決断されましたか？

高校の時から英語を勉強したくて、入学した時から人間探究領域にしようかなとは思っていました。でも、旅行に行ったりするのも好きで観光系にも興味があつたので、人間探究領域の言語にしようか社会にしようか少し迷ったのですが、主を言語、副を社会にしようかと元々決めて入学しました。配られた資料とかパンフレットを見て、言語に興味のある授業が多くあつたので言語に決めました。

———英語が好きになったきっかけはなんですか？

中学生の頃の英語の先生がとても英語が好きで、先生の話を聞いていたら「英語が

って楽しいんだ！」ってなんとなく洗脳？

(笑)されていった気がします。中学生の頃だから全然話せなかつたけど、英会話の授業でネイティブの先生と話したとき、先生のノリの良いところが楽しくて、言っていることが理解できたらさらに楽しくて。「YES」「NO」だけでも会話できるのが嬉しくて・・・。それで英語が好きになりました。

———言語や観光の授業ではどのようなことをされているのですか？

今やっている言語の授業だと、英語の構造を見て分析をしたり、色々な人と話す中で人ほどのような基準で礼儀止しさの度合いを選ぶのかといった授業があります。観光の授業は言語の授業とかぶっていて今はほとんどとれていないのですが、2年生の時にとつていた観光の授業では、班ごとにテーマを決めて実際に現場に行つてそのテーマについて調べ、後でまとめて発表するという授業がありました。私たちの班では「女子大生が尾道に行つても楽しめるか、ちゃんと観光的価値があるか」というテーマを設定して、実際に尾道に行きました。

総合科学部で輝いている人

Q いま何か活動されていることはありますか？

部活動をしています。ラクロス部に所属していて、いつも北グラウンドで練習しています。今は夏のリーグ戦に向けて練習を重ねています。また、もうすぐ1年生の新人戦があるので、「1年生がんばってー！」という感じで応援したりしています（笑）

――なぜラクロス部に入部されたのですか？

中高でバレーをしていたのですが、もうバレーはいいかなと思って（笑）それでラクロス部の体験会に行ってみると先輩も優しく、全然できなかったけどラクロスも楽しかったのでラクロス部に入部しました。

――ラクロス部に入っていてよかったと思うことはありますか？

大変な練習を一緒にがんばったりだとか、練習後にご飯に行ったりだとか、総科の友達とはまた違う、違った面で付き合える友達ができたことが良かったかなと思います。また、他大の人とも交流があったりして、そういうところでも友達が増えてよかった

です。

Q 旅行が好きとのことでしたが、大学生になってどこか行った場所はありますか？

オーストラリアとフィリピンへ留学に、ボリビアへ旅行に行きました。――オーストラリアでの体験を聞かせてください。

STARTプログラムで行きました。学校でちよつとした授業を受けたり、カンガル―島で自然に触れたりしました。ホームステイは最初すごく緊張して、頷くかYESと答えるかしかできませんでしたが、それでもホストマザーがとても優しくあったのが印象的でした。私が言おうとしていることを理解しようとしてくれて、話しかけてくれたんです。帰国したばかりのころはメールでのやり取り



りもあり、クリスマスカードの交換などでも続いています。

――STARTを機に海外に興味を持たれたのですか？

もともと海外に興味はありました。高校生の時から英語が好きで、大学になったら留学したいというのはあったので、STARTに行つて、そこで、「やっぱり自分はどういうのが好きだな。もつといろんな所にいきたいな。」と思うようになり、他の留学にも意欲的になりました。

――フィリピンでの体験を聞かせてください。

広大もみじからIMAGINUSの活動の募集を見つけて、参加しました。1カ月間ホテルに滞在し、現地の大学生と交流しながら英語の勉強をしたり、近くのビーチで遊んだりしました。留学を通して、英語への抵抗は薄れていったと思います。

――ボリビアでの体験を聞かせてください。

インターネットで、部活のOFFの日でちょうど参加できる日程のツアーを見つけて

総合科学部で輝いている人

参加しました。以前からウユニ塩湖を見たいと思っていて、今回の旅行でやっと見る事ができました！留学と違って観光がメインで、周りの観光客やガイドさんも日本人、関わる現地の人も日本語がペラペラ、という状況だったので文化の違いに苦しむことはほとんどありませんでした。でも、現地を食べたりマの肉は日本では珍しい料理でした：硬かったです（笑）

——海外で苦労されたことは何ですか？

思っていることがうまく伝えられなかったり、自分でも何を言っているのかわからなくなったりするので大変でした。相手が優しくなくて何かしようとしてくれてるのに、何も言えないことがもどかしくなったりもしました。

——長期留学の予定はありますか？

8月から、10か月間アメリカへ行きます。食文化の違いもあり、友達にも『太って帰らないでね』と言われました（笑）食べるのが好きなので、太らないように気をつけたいです。語学をメインに学ぶコースに参加する

ので、現地では英語を学ぶために語学学校に行きます。そこで成績が良ければ正規の授業もとることができるというシステムなので、まだ何をするかははっきり決まっています。そのプログラムに参加した先輩から“女性学”というジェンダーについての授業が面白かったと聞いたので、その授業をとってみたいと思っています。



Q 留学を間近に控えた今の目標はなんですか？

将来に向けて英語力をあげて、海外の文化も理解できたらいいなと思います。

Q 将来の目標はなんですか？

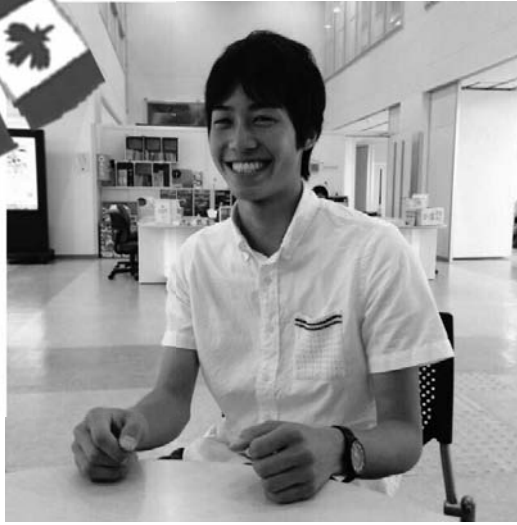
ワーキングホリデーという一年間海外で働ける制度の中に、観光ガイドとして働けるものがあり、認められれば、そのまま働き続けることができるので、それができたらいいなと思っています。親としては広島に残ってもらいたいみたいですが・・・（笑）

Q 最後に総合科学部の後輩にひとことお願いします。

自由にいろんなことがやれる学部なので、自分のやりたいことをしっかりとみつけてほしいなと思います。



総合科学部で輝いている人



藤原 佳祐さん

(社会探究領域)

Q 所属している領域はなんですか？

社会探究領域の現代社会システムです。

Q これまで頑張ってきた主な活動は何ですか？

西条 LOVERS という団体を作って学生と地域の懸け橋となることを目標に活動してきました。活動内容としては、自分たちから地域に働きかけて酒蔵通りで独自にコンサートを2回開催したり、東広島音楽祭の運営に携わったりしてきました。音楽を取り入れたのは地域に興味のない人でも興味を持ってくれるのではと思ったからです。また「学生喫茶 だんだん」というイベントをNPO法人の陽だまりさんとミツ城住民協議会さんと協力して開催しました。住民同士のつながりが薄く、高齢者の居場所がないという現状を目にして自分たちに何か出来ないかなという思いで始めました。当日は子供、学生、高齢者の様々な世代の人が来てくださり一緒に暑中見舞いを作って、歌を歌って、楽しい時間を過ごすことができました。



——西条 LOVERS ができたきっかけは何ですか？

私は愛媛県の広田村という人口5000人くらいの小さな村で育ってきました。地域の方がとても優しく自然もいっぱい自分の大好きな場所でした。しかし村が合併してだんだん廃れていくのを感じてきました。だからこそこの地域を元気にしたいなと思っていました。総科に入った理由もまちづくりを学びたかったからです。でも、1年生の前期までは受験勉強から解放されて正直遊んでしかなかったです(笑)夏休みにワンダーフ

総合科学部で輝いている人

オーゲル部で目標にしていた中央アルプスや富士山を登り終えて、西条に帰ってきたあたりは何をしに大学に来たのかなと深く落ち込みました。迷い込んだ末、自分は地域のことが出たかったんだと思い出しました。学生だけでわいわいして大学生らしいことをするのは楽しいけど、毎日が同じ生活で刺激がなく、また地域の人は挨拶すらできなくてすごくさみしい思いをしていました。なおかつ自分を含めほとんどの学生が西条のことを全然知らなくて、そのまま4年間したら地元に戻ってしまうというのは勿体ないと思いました。そんなときに地域地理学という授業で酒蔵通りに行ったときにこんなにも西条にはあるということを知りました。それから地域ともっと関わりたいたい、酒蔵の方や市役所の方とお話をして地域のイベントをお手伝いしていました。しかし、どこかやりがい薄く、もつと学生の方から働きかけたいなと思って、酒蔵通りでコンサートをすることにしました。そのころにメンバーも集まってきて西条LOVERSができました。

——西条LOVERSをやっつけてよかったことは何ですか？

受け身で期待しているだけでは、西条には何もなくてつまらないと感じるかもしれないけど、自分たちから地域に飛び込んでみると、いろんなおもしろい人たちとの出会いがあったり、新しい地域の魅力を発見できたりします。また自分たちが話し合いで考えたものを実践してみているんな人が喜んでくれると大きな自信にもなります。さらに大きな目標に向けてみんなで協力していくと、もちろん喧嘩もあつたりするけど、普通の友達関係じゃ見えない良さが沢山見えてきてとても密な関係になっていきます。また東広島音楽祭で1年生にボランティアとして手伝ってもらって、楽しんでもらえた時は嬉しかったです。総キャン以降先輩と後輩が関わる機会が少なくなってしまうけど、これからは学校の行事だけでなく自分たちから関わる機会をつくりだせたらいいなと思っています。

「これからやりたいことは何ですか？」

この半年間、活動してきて地域の方からイベントなどの話も多く貰うようになって、地

域の人との信頼関係が少しずつ出来てきたと感じるようになりました。ただ問題として西条LOVERSと学生の関係はまだ全然できていなくて、学生たちから見たら自分たちがどんな活動をしているかがあまり分からないと思います。これからは学生をいかに巻き込んでいくかだと考えていて、音楽に限らず空き瓶を使ったテラリウム、はにわ作り、お酒を使った料理やスイーツなどもつと馴染みやすい今風の感覚を取り入れていこうと思っています。そして少しずつ自分たちの持っているまちの人とのコネクションを活かしてまちの人と学生をうまくマッチングできたらいいなと思っています。最終的には一人でも多くの学生が西条についていいなあとか意外と良いところもあると思っています。嬉しかったです。

Q これから留学されると聞きましたが、具体的な目標を教えてください。

AIMSというプログラムで8月から12月までタイに留学します。主にタイのまちづくりを見てこようと思っています。西条から一

総合科学部で輝いている人

度離れて、外の世界を眺めることでまた違った西条の見方ができるようになると思っています。そして学生と地域の架け橋になるための方法を新たに探り出したいなと思っています。

Q 西条 LOVERS は現在メンバーの募集は行っていますか？

今まで8人でやってきましたが、今のメンバーも最初から自分と全く同じような考えを持つていたわけではなくて、なんとなく楽しそう、みたいな感じで入ってきた人の方が多いです。だからこれから学祭などで出店したり、地域のお祭りに学生を呼び込んだりする中で、どこか共感してくれる学生がいたらぜひ入ってもらいたいと思っています。

Q 趣味や息抜きを教えてください。

YouTube でリラックスする音楽を聴いたり、自転車に乗ってどこかに行ったり、料理作ったりとかしています。でもなんだかんだ日本酒を飲みながら人と喋っている時が一番楽しいです。人間観察が好きで、話をする

中でその人の価値観や人生観に触れられるときがおもしろいですね(笑)



Q 今の活動を将来どういう風な形で生かしたいですか？

いずれは地元にも60歳ぐらいで帰って、育ててくれた故郷に貢献できたらいいなと思います。今はお金儲けよりも学生と地域の架け橋になりたいというところを目標に向か

ってやっているけど、3、4年になってみんなが就職活動を始めても同じことを言っているかは、正直まだわかりません。地域づくりは自分の一番やりたいことだし、できればこれにお金がついてきてそのまま仕事にできたらこれ以上幸せなことはないです。正直他の学部や総科の他の領域に比べ専門性は身につけていないと感じます。だから自分自身は例えば、会議をする時にどうしたら会議って効率よく回るのがだろうと思つたら会議の仕方の本を読んで勉強するし、西条のまちづくりはどうなっているのだろうと思つたら市役所とかが出している本を読むし、それがすごく自分の身になっていような感じがするし、将来の役に立つような気がします。

Q 総科生(後輩)に一言お願いします。

総科はすごく横のつながりが強くてみんな顔見知りなので、例えばなにかやりますってなった時は、実績もないのに意識だけは高い人間として映りかねません。私は人にどう思われているかということを一気に人一倍気にしていました。でもそれを気にしていたら、何

総合科学部で輝いている人

も動けなくなつて、結局何も変わらないと気づきました。そこで、とりあえず一度周りの目をシャットして、自分のやりたいことや満足できることは何かと自分としっかり向き合おうと思いました。思いを行動に移すことはすごく勇気のいることだし、エネルギーも必要だけど、でもそれをやる中でこうやって一緒に仲間になつてくれる人もいるし、地域の人も応援してくれるようになるし、少しずつ一人じゃなくなつていうのがわかってきます。確かにちよつと人より前に出ようとすると、出る杭は打たれるじゃないけど、気に入らないと思う人が出てきます。でもその人たちの目を気にして何もしないよりもやっぱり自分のやりたいことをやって、しっかり応援して共に頑張つてくれる人たちと一緒にやってみようと思ったほうが絶対自分の為になると思います。自分の思っていることや、疑問に思っていることややりたいことをしっかりと見つめて、それを周りの人を気にせずにそのまま行動に移してくれたらいいと思います。

